

原田馨

ドイツ科学史巡礼の旅  
1

一二三書房





## 【著者略歴】

原田 馨(はらだ・かおる)

筑波大学名誉教授

1952年 大阪大学理学部化学科卒業、同大学院に入る。

1956年 フロリダ州立大学研究員。

1964年 マイアミ大学分子、細胞進化研究所、主任研究員、研究教授。

マイアミ大学化学科併任、助教授、準教授を経て教授。

1974年 筑波大学化学系教授。

1991年 筑波大学停年、筑波大学名誉教授、神戸松蔭女子学院大学教授。

専攻：生物有機化学、化学進化、立体化学、プラズマ化学。

著書：生命の起源、化学進化、立体化学(共著)、研究論文約350。

加熱重縮合によるプロテノイド及びプロテノイドミクロスフェアは著名。アポロ計画によりアポロ11号～17号(13号を除く)の試料からアミノ酸の抽出を行うなど。

## ドイツ科学史巡礼の旅①ベルリン

---

2008年9月1日 初版第1刷発行

著者 原田 馨

発行者 長谷川 洋

発行所 株式会社一二三書房

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-14-2

電話 03-3265-1885(編集部)

03-3265-1881(営業部)

<http://www.hifumi.co.jp/>

印刷所 三英グラフィックアーツ株式会社

---

©Kaoru Harada 2008, Printed in Japan, ISBN978-4-89199-025-1

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが小社までご送付ください。送料小社負担にてお取替えいたします。  
本書の無断複製(コピー)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。  
価格はカバーに表示されています。



## 森鷗外記念館

森鷗外 (Ogai Mori, 1862-1922) は日本の有名な文筆家であり、また医者であった。ベルリンでは医学研究機関であるシャリテで医学を学び、その間ルイーゼン通り (Luisenstraße) の二階の部屋に滞在した。現在この部屋はフンボルト大学の森鷗外記念館となっており、毎日多くの日本人旅行者が訪れている。鷗外記念館の活動目的はドイツと日本の間における文化、学術の交流であり、すでに多くの出版物が刊行されている。現在の記念館は日本語に堪能なベアテ・ヴォンデ (Frau B. Wonde) さんにより管理されている。

Mori-Ogai-Gedenkstätte  
Luisenstraße. 39 10117 Berlin



ルイーゼン通りの向いから見た森鷗外記念館



フンボルト大学森鷗外記念館のブロンズの記念板





## 森鷗外記念館

### 開館時間

月から木曜日の10時から2時まで  
ようこそいらっしゃいました。

ベルを押して下さい、そうするとブザーが鳴りますので  
ドアを押してお入り下さい、当館は2階の左です。

Die Mori-Ogai-Gedenkstätte  
(1.Stock)

ist Montag bis Donnerstag

von 10 bis 14 Uhr geöffnet.

TEL.: 282 6097 FAX: 281 5068

*Humboldt - Universität  
zu Berlin*

*Mori - Ôgai - Gedenkstätte*

森 鷗外記念館

2階

MORI-OGAI-GEDENKSTÄTTE 1. Stock

記念館には多くの標札がある。その一部は日本人のためのものである。今まで筆者が写した標札は6枚あるが、半分は日本人用である。





鷗外のデスマスクは彫刻家新海竹太郎により創作された。実に美しいデスマスクである。19世紀半ばよりデスマスクは美しく創られるようになった。



記念館を訪れた人々から送られてきた手紙、写真などが壁一面に飾られていた。

